

2023 年 6 月 28 日

通貨ニュース

マレーシア:MYR の続落を受けて為替介入を実施へ

ロイター通信社は 28 日、マレーシア中銀が足許の通貨下落を受けて、相場安定のために為替介入を実施することを報じた。MYR は 27 日時点において年初来対ドルで▲5.6% の下落を記録し、周辺国通貨と比較しても下落が目立っている。特に 4 月以降はじり安となっており、本稿作成時点では 4.66 台を推移し約 7 か月ぶりの安値水準での取引となっている(図表 1)。

改めて足許の景気と相場動向について整理する。マレーシアは昨年以降、行動規制の緩和が進んでコロナ禍前の水準以上の GDP 回復を実現。その間、国内のインフレも加速し、マレーシア中銀(BNM)はインフレの抑制を主眼とした利上げを継続してきたが、直近ではインフレが制御可能な水準に戻り、国内の景気回復ペースも減速傾向にあったことから金融引き締め打ち止めを見極める段階に入っていた(図表 2)。その一方で、FRB は 6 月 FOMC の結果に象徴されるように、インフレの長期化に対する警戒とタカ派姿勢を維持。米金利の騰勢が強まったとともに両国の金利差は一時逆転し、金利面でドルに押されたことが確認できる(図表 3)。

MYR の需給面についても、変調の兆しが見られている。コロナ禍においてもマレーシアの強みである豊富な一時産品や機械・電子製品の輸出を背景に安定的に貿易黒字を計上してきたが、世界的な製造業の景況感の停滞や財需要の減速と相まって、その水準は着実に縮小している(図表 4)。特にコモディティ輸出は価格の調整もあって前年と比較して大きく減速している中で、今後の市況を左右する中国経済の持ち直しに不透明感が強まっている。現に中国向けの輸出が伸び悩んでおり(図表 5)、主要産品の需要の改善が見込みづらい状況下、年後半にかけての持ち直しを期待するのは難しいように思われる。なお、直近における対中輸出は前年比でプラスの推移となっているが、中国で厳格なコロナ規制が敷かれた時点との比較であることから、数字ほどに輸出が改善していないものと考えたい。総じて通貨安を背景に輸出を伸ばすことは難しくなっており、これによって MYR の通貨安が修正されにくい地合いにあるものと考えられる。

BNM は今回の決定に際して、マレーシアのファンダメンタルズに対し、MYR が過小評価されている点に言及した。景気の回復はピークを過ぎたものの予想を裏切る内容ではないこと、海外からの堅調な投資資金流入が続いているながらも、足許の軟調な中国経済の動きに合わせて MYR も売られやすくなっている可能性を示唆した。引き続き国内経済は年間の目標(前年比+4.0~+5.0%)に向けて成長が続くとの見方を示しており、BNM は今後の FRB の動向や中国人民銀行(PBoC)や中国政府の情報発信に柔軟に対応する姿勢を示している。

今回の介入規模やスケジュールに関して、詳細は内容の公表はなく、マレーシアの外貨準備は安全性の基準とされる輸入比率 3 か月以上の水準にはあるものの、新興国全体と比較しても潤沢であるとは言えない(図表 6)。そのため MYR の下落が弱まる際など、効果的なタイミングでの実施が求められる。

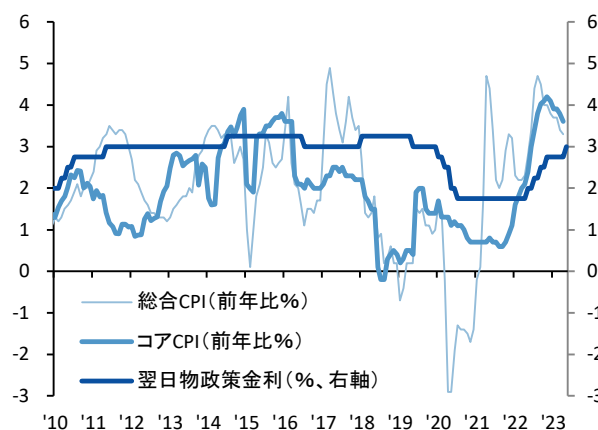
市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

図表 1: MYR の動向



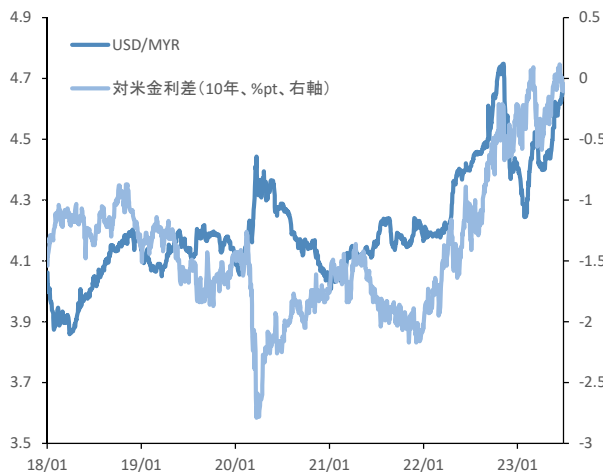
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

図表 2: マレーシア政策金利と消費者物価指数(CPI)



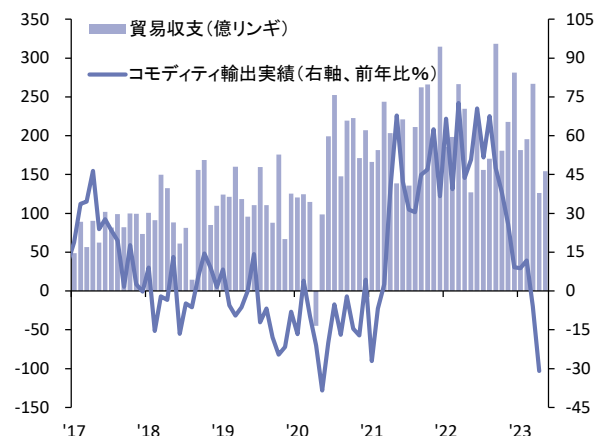
出所: マレーシア中央銀行、マレーシア統計局、CEIC、ブルームバーク、みずほ銀行

図表 3: 対米金利差(マレーシアー米)と MYR 相場



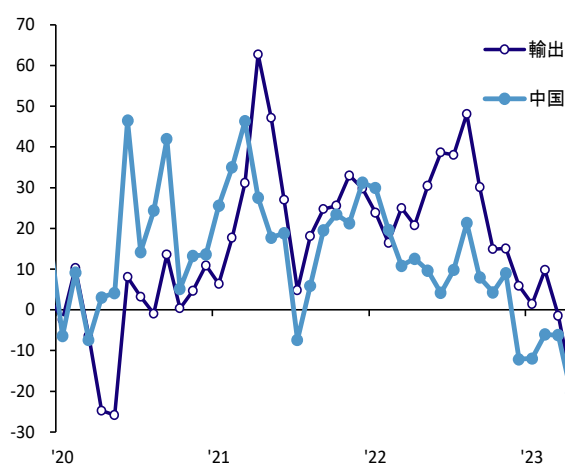
出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 4: 貿易収支とコモディティ輸出実績



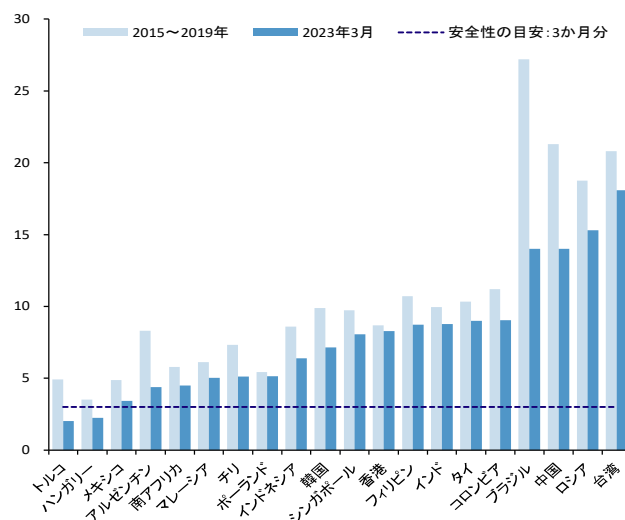
出所: ブルームバーク、CEIC、みずほ銀行

図表 5: マレーシア輸出実績(前年比%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

図表 6: 新興国の外貨準備水準の比較 (輸入比率)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。